

2. 楽しく安らげる暮らし

背景となる社会環境の変化：①人口構成の変化、②出生数と合計特殊出生率、④世帯数の変化、⑤健康寿命、⑨地球温暖化への対応

2030年には高齢者世帯が4割を超え、高齢者自身やその家族が安心して暮らせることが重要である。また、家庭内では、利便性の向上のために高度に機械化・情報化が進むため、住宅の設備機器には益々安全快適な人間への親和が重要となる。さらに、快適性や楽しみの更なる向上に向け人間の五感や生理の研究・活用が進む。一方で、身体機能に不安がある方の日常生活支援、少子化の抑制に向けた育児・家事支援、快適性を維持向上させながらの省エネなどは緊急かつ持続的な課題である。

達成するための技術

- ・人に親和したエンターテインメント技術
- ・人間特性を活用した快適環境創出技術
- ・日常生活の行動・生理を見守る技術

将来のゴール

- ・五感で楽しみ快適な空間でくつろげる
- ・省エネしながらでも快適に暮らせる
- ・家族みんなが安心して暮らせる

ロードマップ

人に親和したエンターテインメント技術 『五感で楽しみ快適な空間でくつろげる』

